

Q&A

一般質問



わかたけ しゅういち
若谷 修治 議員
政志会



新しい教育長の教育方針は

Q 新しい教育長の教育方針について伺う。

A 歴代の教育長が推進してきた教育施策を基盤に、「対話と協働により新たな価値を創造する人づくり」を教育理念に掲げ、これからの教育行政を担っていきたくと考えており、学校教育においては次の3点に重点的に取り組んでいます。1つには、子供の学びの視点から、新学習指導要領の着実な実施により、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、一人一人の資質・能力の確実な育成に取り組んでいます。2つには、教育に携わる教職員の視点から、学校における働き方改革を推進しています。3つには、GIGAスクール構想の実現、学校と家庭や地域の連携・協働の推進に取り組んでいます。また、家庭教育、社会教育においては、豊かな人生を歩んでいただくために「いつでも、どこでも、誰もが、いつまでも」学ぶことができる学習の機会や場を提供し、生涯学習の充実を図っていきます。

(教育長)

夏季休業日短縮のメリット・デメリットは

Q 夏季休業日短縮のメリット・デメリットはどのようなものか。また、本市の今後の考えは。

A 短縮のメリットは①授業時間数の増加に対応し、ゆとりある教育課程の編成の下、確かな学力の定着や補充など、学びの質的向上につながる。②子供たちが体調を整え、本格的な授業までの助走期間的な役割を果たすこと。③働く保護者にとつては、子供が通学していることにより安全で安心できること。④学校給食により正しい食生活を過ごすことができること。一方、デメリットは、①家庭や地域社会での活動を通して体験的に学ぶことや子供の自立心を育てたりする機会が減少すること。②登下校中に熱中症のリスクを抱えること。③教師にとつては、休みを取ってリフレッシュしたり、教材研究にじっくり取り組んだりするなど、まとまった時間の確保ができにくいことです。

(教育長)



うへはら ゆたか
植原 泰 議員
国民民主党議員会



幼稚園・保育所・認定こども園・小学校の先生に表情の見えるマスクの配布を

Q 表情が見えないことへの不安を軽減するために表情の見えるマスクを配布してはどうか。

A 子供の年齢や発達段階、発達特性等に依りて、また、食事の場面や絵本の読み聞かせなど、様々な場面で、感染防止対策を第一に考えながら、フェイスシールドや透明マスク等の導入についても適宜検討しつつ、子供の安心感や心の育ち、教育・保育と感染防止の両立を図れる対策に今後取り組んでいきます。

(健康福祉部長)

セアカゴケグモの市民への注意喚起を

Q 昨年の12月定例会において、セアカゴケグモが活発に活動し出す春先に市広報紙等を使用した注意喚起について検討していくとの答弁があり、本年7月の市広報紙にセアカゴケグモの注意喚起の記事が掲載されたが、なぜ春先ではなく7月になったのか。また、気温が高くなり始める4月や5月の早い時期に掲載できないか。

A セアカゴケグモが活発に活動を開始する時期は、梅雨が明け、気温が上昇する7月頃と言われていることから、県内の他の自治体と同様に、最も注意していただきたい時期に掲載しました。

また、注意喚起の機会を増やすという観点から、夏の広報に加え、春の周知についても検討していきたいと考え

(建設経済部長)

A 小中学校においては、文部科学省の「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」等で、マスクの種類や着用方法など、飛沫防止の留意事項が具体的に示され、これに基づいて感染対策を講じています。学習の場面では、必要に応じて、人との距離を確保し、アクリル板やフェイスシールド、マウスシールド等を活用して指導を行っています。

(教育長)

